

麺類をバランスよく食べるコツ

《麺類の特徴と注意点》

★ 糖質を多く摂りすぎてしまう！

- ラーメン・餃子など糖質を重ねない選び方をしましょう。
- 単品（例 ざる蕎麦・素うどんなど）のみですと食後血糖を急上昇させます。
- てんぷら・かき揚げ・芋類などを+すると糖質と油がプラスされます。

1個の揚げ物で小麦粉5~10g使用されています。

小麦粉20g（大さじ2杯）でご飯50g相当（おにぎり1/2個分）



かき揚げ
1個 296Kcal

天ぷらえび2本
232Kcal

炭水化物を
重ねて選ばない

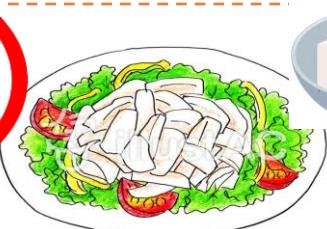
そうめん普通盛り

乾麺1束100g（ご飯250g相当）



蒸し鶏サラダ

114Kcal



冷ややっこ

80Kcal



卵入りサラダ

100Kcal

- 肉や魚・卵・大豆入りの野菜料理をプラス
- 麺のトッピングに油揚げやほうれん草をプラス
- 冷やし中華の様に具沢山

★ 単品のみでなく、おかずも食べましょう！

- おかずが無いので、たんぱく質・野菜が不足しています。（腹持ちもよくななく、繊維も不足）
- 麺類の量を減らし、満足感を増す為にも野菜をプラスしましょう。

★ 食べる分を把握しましょう！

- 大皿に盛って食べると自分の食べた分が把握できなくなります。
- 食べる前に自分の食べられる分量を個人皿に盛りにしましょう。

- 1食の主食量を把握しておく。
- 主食の適量はエネルギーの50~60%です。
- 主食以外の炭水化物が多い食品を把握しておく。
食べる場合は主食と交換します。
- 大豆（枝豆も含む）以外の豆は炭水化物の多い食品と考えます。

《主食の仲間の食品ごはん50g相当》



トウモロコシ
1/2本



南瓜 90g



じゃが芋 110g



そらまめ 70g
小豆茹で 60g

主食早見表

《1回主食量目安》（ご飯の場合）

1日の適正カロリー	1200kcal	1440kcal	1600kcal	1800kcal
糖質50% ～60%	83～116g	116～150g	130～166g	160～200g 寿司 10貫



《ゆで麺》糖質 60%の場合

(糖質 50~55%は分量が減ります)

1日の適正カロリー	1200kcal	1440kcal	1600kcal	1800kcal
そうめん、冷麦			<u>200g</u>	240g
そば	140g	<u>180g</u>	<u>1人前</u>	
うどん	185g	<u>240g</u>	265g	320g
スパゲティー(ゆで) 中華麺(ゆで)	116g	150g	166g	200g

《外食の1人前目安(ご飯相当)》

ラーメン 生麺 120~160 g (200~270g)
 ざる蕎麦 220 g 程度 (180 g)
 うどん温かい 240 g 1玉 (150g)
 そば温かい 180 g 1玉 (150 g)
 パスタ茹で 250g (250g)
 焼きそば 150 g (180 g)

店により異なります



《乾麺》←ゆでる前の麺 糖質 60%の場合 (糖質 50~55%は分量が減ります)

1日の適正カロリー	1200kcal	1440kcal	1600kcal	1800kcal
そうめん、冷麦				
そば、中華麺	46g	60g	75g	80g
うどん、スパゲティ				

※ 乾麺は1人前 100g = 大盛りご飯相当 250g になります

●麺を食べる工夫

- ①ご飯を食べる時と同じように主菜(肉・魚・卵・大豆)や副菜(野菜料理)を用意する。
- ②こんにゃく麺や野菜を補足カットし混ぜ込み、かさましをする。
- ③冷やし中華のように具材をたくさん用意し、バランスを整える。
- ④低糖質食品を利用する。(低糖質麺など)



乾麺 100 g
1束が多いです。



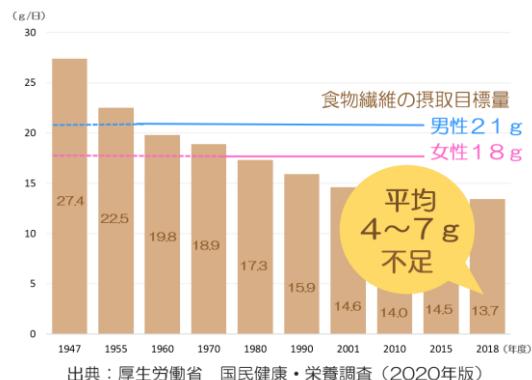
食物繊維の摂取を増やしましょう!

食物繊維の摂取は減少傾向です。目標は男性 21 g 女性 18 g 以上ですが、4~7 g 不足しています。

●食物繊維の多い小鉢を1品増加させる。



日本人の食物繊維摂取量の推移



●主食での食物繊維比較

野菜以外主食の変更で食物繊維摂取を増やすことができます

主食の食物繊維の比較

